

住吉の御前に供う 桐の箱

みまえ そな

和歌と三味線 柏手を打つ

かしわで

令和三年十一月八日

大中臣正比呂



筑前一宮の住吉神社の近くにある「わせだ屋」と云う、初めて行った店で三味線箱を買った。

店には何と三つも備えてある。東京では希少価値だ。金沢の西茶屋で見つけた三味線箱もかなり古かったが、「店で一番古いのはどれだ」と言ったら、店の奥二階から、更に一箱を出してくれた。「金属の三味線立てと同じ値段なら買うー」と話したら、その値で快く売ってくれた。これで姉妹三棹の、箱入り娘の二人が片づいた。帰りに住吉神社に、神縁により求めた三味線箱を供えてお参りした。さすが、和歌と音曲の神様である。感謝。